

発展学習の例

(1) 解説動画

指定の課題について解説動画を作成、Canvaで編集する。

(2) 一枚要約

単元の解き方が難しい問題をA4版1枚でわかりやすく解説する。

word、PowerPoint、Canvaで編集・まとめをする。

(3) 問題作り

表は問題、裏は解説を作る。

word、PowerPoint、Canvaで編集・まとめて、サーバーに保存して問題を解き合う。

(4) 算数ミッケ

身の回りにある比例・反比例を校内で探したり、検索したりしてword、PowerPoint、Canvaで編集・まとめをする。

(5) 高難度問題

単元に関する受験問題を検索し、ノートに解く。

児童の様子

○解説動画

問題解説をする中で自分の解き方の甘さや言語化の難しさに気づき、友達同士で開設の内容を検討する様子が見られた。

○1枚要約

A4版1枚という制限の中で分かりやすく要点をまとめるために、言葉・式・図を用いてまとめる様子が見られた。

○問題作り

問題作りに取り組む子たちがチームを組み、PowerPointで共同編集しながら問題及び解説を協働的に作り、問題集を作る様子も見られた。

○算数ミッケ

校内を散策し、比例反比例の関係を見つけてポスターにまとめるなどの様子が見られた。

○高難度問題

キーワード検索を活用し、受験問題を選び、友達と一緒に解き方を検討している様子が見られた。

成果

○教師がタブレット端末を「使わせる」のではなく、児童が発展学習を自己選択・自己決定して取り組む中で自然と「学習の道具」としてタブレット端末を活用することができた。

課題

○Canva、word、PowerPoint、写真撮影機能、動画撮影機能など多くの機能を使った。情報活用能力が低い児童には、タブレット端末の活用方法から指導する必要があった。低学年からの系統的な情報活用能力の育成の必要性を感じた。

○どの発展学習も、作ることが目的になる場面があった。基本的には学習を児童に委ねるのだが、「解説動画を作る中で上手に言語化できるようになる」や、「じっくりコースの友達がこの問題でつまづかないようにわかりやすく作る」など、相手意識と目的意識をもって学習に取り組ませることについて、きちんとした指導が必要と感じた。